

第3学年 国語科学習指導略案

1組 計27人（男子11人，女子16人）

指導者 中間庭 智子

1 単元 れいをあげてせつめいしよう

（教材「食べ物のひみつを教えます」光村3年下）

2 単元の目標 材料がいろいろな食品に姿を変える事例を複数挙げながら，説明する文章を書くことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	B 書く能力	言語についての知識・理解・技能
食べ物について関心をもち，調べて分かったことを説明しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中」の部分で，内容のまとまりごとに段落を分け，文章を構成している。 【(1)イ】 ・ 書こうとすることの中心を明確にし，接続語を用いて，適切な事例を挙げて説明する文章を書いている。 【(1)ウ】 ・ 書いたものを発表し合い，書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合っている。 【(1)カ】 	説明するために必要な語句を，辞書を引いて調べている。 【(1)イ(カ)】

4 単元の位置とねらい

これまでに子供たちは，第2学年の「しかけカードの作り方」で事柄の順序に沿って構成を考えながら書く学習に取り組んできた。また，「すがたをかえる大豆」を読む学習を通して，「中」の部分に事例を列挙するなどの説明の工夫について学習してきている。

そこで，本単元では，「B書くことウ 収集した資料を効果的に使い，説明する文章などを書く言語活動」の「食べ物ひみつブック」を書く活動を位置付ける。「食べ物ひみつブック」には，題材として選択した食材をおいしく食べる工夫について，書こうとすることの中心を明確にししながら内容のまとまりごとに段落を分け，接続語を用いて適切な事例を挙げて説明する文章を書くことができるようにする。

この学習は，資料を基に構成を考えて報告する文章を書く単元「ことわざについて調べよう」や社会科の「店ではたらく人」，総合的な学習の時間の「世界の国を調べよう」で事例を挙げながら説明する文章を書く学習に適用することができる。

5 本時（8 / 8）

前時までに子供たちは，選択した食材について，どのような食品に姿を変えているのかを取材し，構成を考え，文章を書いてきた。さらに，よりよい文章にするために友達と読み合い，文章の間違いを正したり，書き直したりしてきた。そこで本時では，互いの表現のよさについて意見を述べ合った後，分かりやすく説明する文章を書くための観点に基づき自らの学習過程を振り返ることで，この単元の学習において身に付けた力や，自己の学びのよさや課題を自覚することができるようにする。

(1) 目標

分かりやすく説明する文章を書くための観点に沿って，互いの文章の書き方の工夫や読んだ感想などについて伝え合ったり，自己の学びのよさや課題を自覚したりすることができる。

(2) 指導に当たって

ア 対話を重視した「学び合い」【研究内容1】

① ペアでの「学び合い」

互いの作品を読み合い，よく書けたところや難しかったところを伝え，どうすればよりよい文章になるかを話し合いながら書き直したり付け加えたりすることで，よりよい文章にすることができるようにする。その際，作品とよりよい文章にするための観点ごとの評価を対応させることで，よく書けたところや難しかったところが明確になるようにする。

② 全体での「学び合い」

ゴールドシールの子供の作品を取り上げ，自分の作品と比較する言葉掛けを行い，相違点に着目させることでよりよい表現の工夫について気付くことができるようにする。

イ 自己の学びを自覚するための評価活動【研究内容2】

「まとめる・広げる」過程で，「学び合い」を通してよりよくなった作品を基に，前時の自己評価を見直す時間を設定する。さらに，「高める・味わう」過程において「分かったこと」「できるようになったこと」「『学び合い』を通して変わった考え」「もっとがんばりたいこと」「今後の学習や実生活に生かしていきたいこと」の五観点に沿って自己評価を伝え合うことで，自己の学びのよさや課題を自覚することができるようにする。

(3) 展開 □ 教師の言葉掛け □ 子供の反応 ◆ 重点評価項目 ☆ ICT 活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導	
つかむ・見通す (7)	<p>1 これまでの取組を想起し、本時の学習内容について話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">今日はどんな学習をしていきますか。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">分かりやすく説明する文章の書き方で分かったことやできるようになったことを振り返ります。</p> <p>2 本時の学習課題を立てる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">よりよい文章にするために、どのような工夫ができるようになったらうか。</p> <p>3 解決の見通しを全体やペアで確認する。</p> <p>4 分かりやすく説明する文章を書くために気を付けたことを振り返る。</p>	<p>○ 本時の課題解決に向け、どのように学習を進めるのかペアで確認し合うことで、子供一人一人が見通しをもって本時の学習に臨むことができるようにする。</p> <p>○ 前時の自己評価を振り返り、学習内容における成果と課題を自覚することで、本時の学習への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>○ これまでのノートやワークシートなどを読み直すことで、本単元で学習したことを振り返ることができるようにする。</p>	
	調べる・深める (17)	<p>5 完成した説明文を読み合い、よりよい文章にするためにどのような工夫ができるかを伝え合う。 【ペアでの「学び合い」】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">互いの作品のよく書けたところや難しかったところを伝え、どうすればよりよい文章になるか二人で話し合いながら、書き直したり付け加えたりしましょう。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">「初め」には、読み手が読みたくなるように問いの文章を書くといいと思うよ。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">「中」に挙げる例は、この順序に変えた方がもっとよくなると思うよ。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">「終わり」には、まとめだけではなく感想も書くと、もっとよくなると思うよ。</p>	<p>☆ 電子黒板で「学び合い」の手順や方法を示すことで、見通しをもって「学び合い」に取り組むことができるようにする。</p> <p>○ ワークシートを用いることで、よく書けたところや難しかったところが明確になるようにする。</p> <p>◆ 観点を明確にして、友達の表現の分かりやすいところを見つけ、伝えることができる。 【書く能力：「学び合い」】</p>
		まとめる・広げる (8)	<p>6 ペアで伝え合った書き方の工夫や内容のよいところを全体の場で出し合い、説明する文章をよりよくするための工夫について話し合う。 【全体での「学び合い」】</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">事例の順番をよく食べるものの順序で書いていたところが分かりやすいと思いました。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">調理の仕方やおいしく食べる工夫がとても詳しく書いてあり、分かりやすいと思います。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">終わりの部分に感想が書かれています。</p>
高める・味わう (13)	<p>7 「学び合い」でよりよくなった作品を基に、前時の自己評価を見直す。</p> <p>8 本時の学習について分かったことを自分の言葉でまとめ、学んだ結果を振り返り、成果と課題を自覚する。 【自己評価】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">㊶ 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書けばよいことがわかった。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">㊷ 「中」の部分に例をあげて説明する文を書くことができた。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">㊸ 最初の文章よりも、工夫を取り入れて分かりやすい文章に変わった。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">㊹ もっと他の食べ物についても調べて書きたい。</p> <p>9 本時の学習を、どんな学習や生活の場面で生かすことができるかを考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">社会科や理科の研究で説明するとき生かすことができそうだ。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">総合的な学習の時間でも生かしていきたいな。</p>		<p>○ 前時の自己評価を見直すことで成果を自覚することができるようにする。</p> <p>○ 本単元において分かったこと、できるようになったこと、「学び合い」を通して変わった考え、もっとがんばりたいことの観点で自己評価をすることで自己の学びのよさや課題を自覚することができるようにする。</p> <p>◆ 自己評価の観点を基に、自己の学びのよさや課題を書くことができる。 【書く能力：ワークシート】</p> <p>☆ 他教科で学習する内容についてプレゼンテーションソフトを使って提示することで、今後の学習や実生活で生かすことができる場面に気付くことができるようにする。</p>

「学び合い」想定シート

学習課題

この単元でどんなことが分かり、どんなことができるようになったらうか。

ペアで友達の作品を読み合い、観点を基に感想を交流し合いながらシールを貼る。



互いの作品のよく書けたところや難しかったところを伝え、どうすればよりよい文章になるのか二人で話し合いながら、書き直したりつく加えたりしましょう。

「初め」には、読み手が読みたくなるように問いの文章を書くといいと思うよ。



なるほど。そうすると、次にどんなことが書かれているのか、読みたくなるね。



「中」の例を挙げる順序は、
●●, ■■, ▲▲よりも, ■■, ●●, ▲▲の方がいいと思うけど...

どうしてそのように変えた方がいいのかな。



その方が、すがたが変わる様子がよく分かるからだよ。

そうだね。では、そのように変えてみよう。



ペアでの「学び合い」で気付いた互いの表現のよさについて交流する。



書き方の工夫や内容のよさで、みんなに紹介したいものはありませんでしたか。
【友達の考えのよさに気付かせる言葉掛け】

〇〇さんの作品は、「まず」「次に」「さらに」という言葉で分かりやすく書かれていました。



順序を表す言葉を正しく使えていますね。【価値付け・称賛】

ゴールドシールが付いている人がいます。



ゴールドシールが付いている人の文章を読んでみましょう。自分の文章とは何が違うのでしょうか。【相違点に気付かせる言葉掛け】



〇〇さんは、「中」の文が、よく食べるものの順序で書いています。身近なものから書いてあるのでとても分かりやすいです。

ゴールドシールをもらった△△さんの文章は、元の形に近いものから順番に書かれていました。



□□さんは、調理の仕方が簡単なものから難しいものの順序で書いてあるので、分かりやすいと思います。

調理の仕方やおいしく食べる工夫などが、ぼくの文章と比べて、とても詳しく書いてあって、分かりやすい文章だと思います。



「終わり」の部分のまとめの文章にも、自分の感想が書かれていて、分かりやすいです。

「初め」の部分の書き方が、読んでいる人が早く読みたいと思うような書き方になっています。



学習のまとめ

- ㊦ 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書けばよいことがわかった。
- ㊧ 「中」の部分に例を挙げて説明する文を書くことができた。
- ㊨ 最初の文章よりも、工夫を取り入れて分かりやすい文章に変わった。
- ㊩ もっと他の食べ物についても調べて書きたい。